

第14節 学校図書館

1. 概要

学校図書館がもつ、「情報・資料センター」としての役割を重視し、多角的に経営しようとする動きがめだってきた。このため、「学校図書館の利用指導」および「読書指導」について実践・研究する学校が多くなり、かなりの成果を収めている。

しかし、こうした動きの反面には、学校図書館が努力しなければならない本来の業務、施設・設備、蔵書資料等の整備・充実に対して力を省く傾向も見受けられ、学校図書館運営上の一つの問題点となっている。

また、図書館運営を効率的にしようとする立場から、司書および司書教諭の配置を望む声も県内に高まっており、学校図書館法の改正を訴える動きも活発である。

2. 第24回福島県学校図書館研究大会

(1) 趣旨

調和のとれた人間形成のために、学校図書館の果たす役割は大きい。

そこで、福島県学校図書館協議会は学習センターとしての学校図書館のあり方、読書指導の体系化、利用指導のあり方、資料の組織化、運営の合理化等について、研究に取り組み教育課程の展開と豊かな人間形成のために寄与したい。

(2) 研究主題

教育課程の展開に寄与し、豊かな人間形成のために、学校図書館はいかにあるべきか。

- (3) 主催 福島県学校図書館協議会
郡山市学校図書館連絡協議会
郡山市教育委員会
- (4) 期 日 昭和48年11月7日～11月8日
- (5) 会 場 郡山市立薫小学校
郡山市立郡山第一中学校
- (6) 講師 東京学芸大学教授 深川恒喜
- (7) 内 容

① 分科会テーマ

- ア、第1分科会 「学校図書館の管理と運用」
- イ、第2分科会 「読書指導」(小学校)
- ウ、第3分科会 「読書指導」(中学校・高等学校)
- エ、第4分科会 「学校図書館の利用指導」
- オ、第5分科会 「学校図書館における司書の役割」

② 全体会

- ア、講 評 義務教育課指導主事 大堀敬之
- イ、講 演 「情報化社会における学校図書館の新課題」
東京学芸大学教授 深川恒喜

3. 学校図書館研究協議会

(1) 目的

小学校、中学校および高等学校の学校図書館運営に関する諸問題について研究協議し、教育課程の効果的な実施に資する。

- (2) 主催 文 部 省
- (3) 期 日 昭和48年11月15日～11月16日 2日間
- (4) 会 場 オリピック記念青少年総合センター
- (5) 参加者 会津若松市立東山小学校長 秋山 鉄義
福島市立信陵中学校 教諭 金沢 武男
福島県立相馬高等学校教諭 早水 恒利

第15節 教育研究団体

1. 福島県公立幼稚園教育研究会

(1) 財政および組織の状況

役 職 名	氏 名	勤 勤 校	会員数	昭和48年度決算額	左のうち県費補助額
会 長	設 楽 貞 夫	福島市立清明幼稚園	601人	(決算見込額) 863,229円	(予定) 200,000円
副 会 長	原 則 文	猪苗代町立猪苗代幼稚園			
同	阿 部 守	郡山市立熱海幼稚園			
同	志 賀 光	小高町立小高幼稚園			
監 事	白 岩 重 夫	滝根町立管谷幼稚園			
同	松 崎 健一郎	喜多方市立喜多方第一幼稚園			
理 事	遠 崎 善一郎	県北、霊山町立石田幼稚園			
同	竹 内 央	県中、鏡石町立鏡石幼稚園			
同	鈴 木 淳	県南、塙町立塙幼稚園			
同	佐 藤 文 美	会津、下郷町文下郷幼稚園			
同	高 木 良 枝	相双、檜葉南幼稚園			
同	米 本 恒 久	いわき、平市立すずかけ幼稚園			
地区代表委員	設 楽 貞 夫(清明幼)	遠 藤 愛 子(飯 坂 幼)			
同	遠 藤 善一郎(石田幼)	平 賀 満 里子(醸 芳 幼)			
同	尾 形 智 秀(上川崎幼)	今 村 節 子(和 幼)			
同	阿 部 守(熱海幼)	国 分 礼 子(安子島幼)			